



青山神明遺跡

発掘だより 9号

令和 7年 7月 23日



◆ A区、B区の地元説明会を開催します！

今回、青山神明遺跡 A区、B区における調査が順調に進んでまいりましたので、調査で確認された縄文時代草創期（約 15,000 年前）から江戸時代（約 200 年前）までの遺物、遺構についての説明会を開催します。

日時：8月2日（土）午前 10：00 から

場所：青山神明遺跡発掘調査現場（右上地図参照）

参加費：無料

その他：当日は猛暑が予想されます。会場内にテント、扇風機などはございますが、水筒の持参、日傘、帽子などの暑さ対策をお願いします。



A区北側（西から、神明公園を背景に撮影）

◆ 地元説明会の見どころ

今回の地元説明会は、主に調査の完了している A区北側について説明します。A区北側ではいくつかの溝や井戸、そして多くの土坑（用途不明の穴ぼこ）が主に見られます。これら遺構から出土する主な遺物は古墳時代の土器、中世（鎌倉時代～室町時代頃）の陶器となっています。注目の遺物としては縄文時代草創期の槍先につけて使用したと考えられる有舌尖頭器や、平安時代の焼き物である灰釉陶器の瓶類があります。



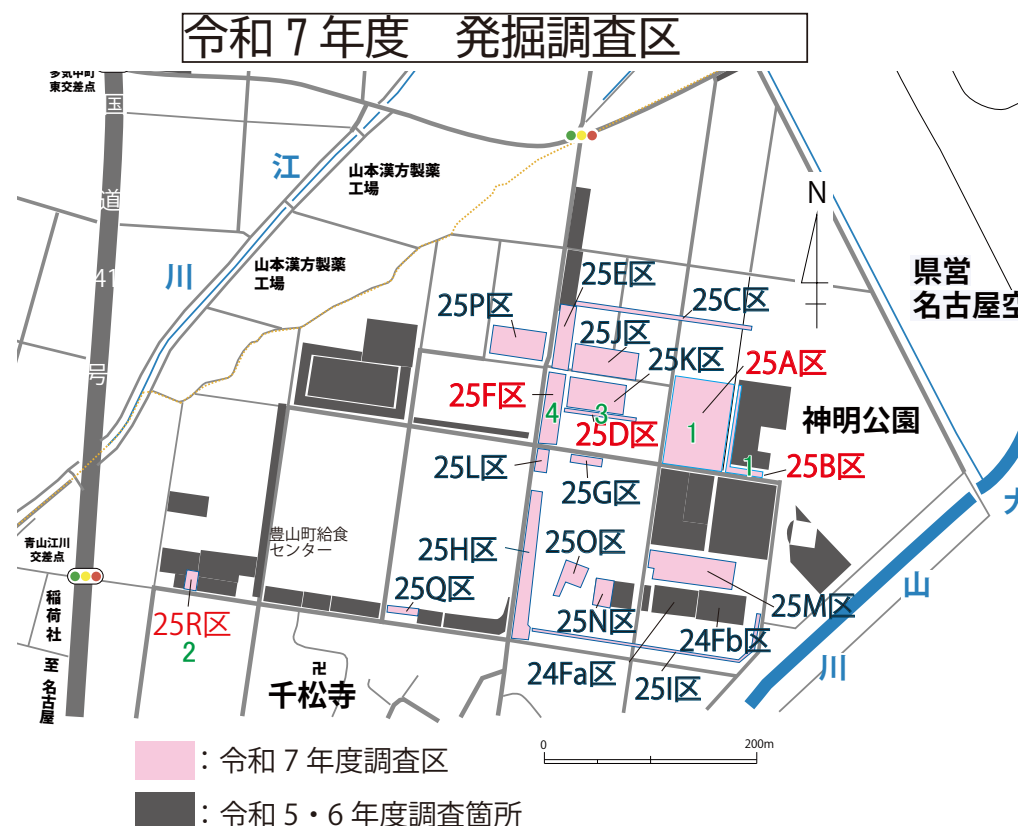
注目遺物 1
有舌尖頭器

- ・茎部（舌部）が根本にある石器
- ・槍先につけて使われた
- ・時代は縄文時代草創期（15,000 年前）でとても古い



注目遺物 2
灰釉陶器瓶類

- ・灰を原料とした釉薬がかけられた陶器
- ・下半分のみ出土
- ・時代は平安時代（9～10 世紀）



編集



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-2

<http://www.maibun.com>